

より丈夫な住まいを求めたら

耐震構造+制震構造で地震から守る



住まいに対する意識が高まり、様々なニーズがあります。その中で、地震に強い住まいというニーズがあります。私たち建築工房クームがお薦めする2×4工法は、耐震構造ですので地震に強いモノです。しかし、より強い構造を求めるニーズに対応する為に、耐震構造に加え、制震構造を取り入れるダブルの強化構造を考えております。地震の揺れをしっかり受け止める耐震構造と揺れの運動エネルギーを熱エネルギーに変換して抑える制震構造により、より強い住まいが実現できます。そこで、様々な制震構造の中で今回は、『GVA』をご紹介します。



ジーバ

2x4+GVA

GVAは、揺れを内蔵されているラバーに伝わり、揺れを抑える構造のモノです。そして、2×4工法の揺れをしっかり受け止める構造のモノと組み合わせる事で、さらに、揺れにブレーキをかけることにより、お互いの効果を最大限に発揮し、地震から守ってくれる住まいとなります。



実際のGVAを見てみよう！

今、建築工房クームでは、NEW OFFICEを建設中でGVAを採用します。そこで、GVAを施工した際、実際に見て頂きたいので、構造見学会を開催したいと考えております。メーカーの方がご説明する予定ですので、興味のある方は、是非、実際にお越しくださいませ。そして、私たち建築工房クームの住まいづくりもご覧頂きたいと考えております。何分構造のことですので、開催日の確定はまだできておりませんので、お手数ですが、ホームページ及びブログとして電話等でご確認ください。

随時募集中

見学会予定は、都合により変更することがございます。予めご了承くださいませ。



構造見学



【自信があるから見て欲しい】【自信があるから知って欲しい】【そして、安心して欲しい】見えない部分程大切です。しっかりご自分の目で確認してください。

BLOG 現場状況や情報発信
URL <http://ameblo.jp/cumu/>

WEB クームに関する情報満載
URL <http://www.cumu.jp>

The bountiful life in information on the residence and the living.



Kumishinbun
vol.021 組新聞 EC
LEHAS 生活楽道堂 LOCO House SOUL

食料危機 3秒に1人が餓死

日本に住んでいる私たちは、食料危機と言われても、将来の事のように思えるでしょう。しかし、世界ではすでに食料危機なのです。現在の世界人口は、国連での公表で65億人とされています。その内、8億5千万人が餓死しているのです。これは、7.6人に1人ということになります。例えば、20人学級のクラスに2~3人が餓死してしまうことになるのです。日本では、常にスーパーなどにモノが溢れ、実感はありませんが、こうしている今でも何処かで餓えに苦しみ、餓死をしている子供がいるのです。この食料危機の原因は様々ですが、地球温暖化の懸念により開発されたバイオ燃料も原因の一つなのです。



この画像は、餓えに苦しみ命尽きる子供とその死を待つハゲタカです。このような飢餓に苦しむ子供がいる国の80%が、余剰食料を生産しています。先進国に輸出する食料はあっても、自国の子供たちに食べさせるモノは無いという状況なのです。このような不平等が現実存在しています。その一方で私たち日本は、1年間に食品廃棄物が218.9万トンという、世界で一番捨てている国なのです。その内、27%が食べ残しや手つかずで捨てられています。食料危機は、決して人ごとでは無いのです。自国の利益ということではなく、地球の利益を考えなければ成らないのです。

←飢餓で命尽きる子供とその死を待つハゲタカ